



ロータリー財団 未来の夢計画



新補助金制度

2013-2014年度 RI第2660地区ロータリー財団委員長
溝畑正信(東大阪東RC)



ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を

ロン D.バートン2013-14年度RI会長

新補助金モデルとは・・・

- ☞ ロータリー財団の新たな時代の幕開け
- ☞ 人々の人生を豊かにするロータリーの可能性を実現する機会
- ☞ 持続可能な国際プロジェクトを促す
- ☞ 地域社会のニーズに応える地元プロジェクトの柔軟性を高める
- ☞ ロータリーを新しい次元へと昇華させる



ロータリー財団

財団の標語

世界で良いことをしよう

財団の使命

人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済し、
世界理解、親善、平和を促進する

寄付

補助金として、受益社会に持続可能な変化をもたらす活動に
役立てられる



2013-14年度財団目標



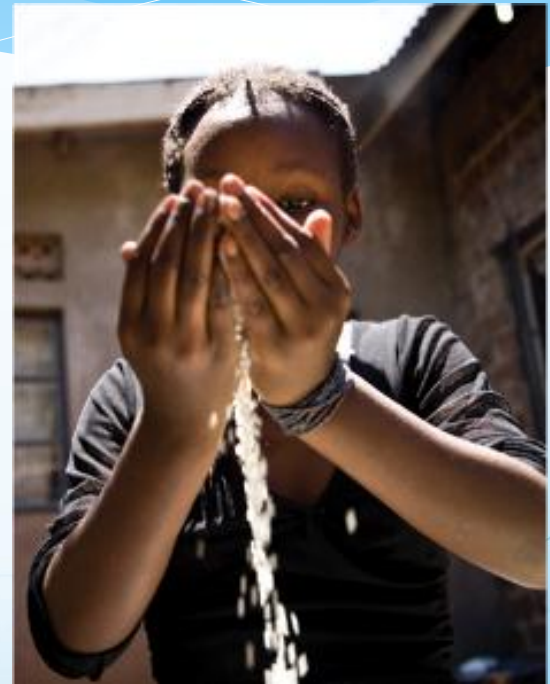
李 東建

2013-14年度
財団管理委員長

1. ポリオを撲滅
2. 新補助金モデルの導入を成功させ、
画期的な未来の夢計画を全世界で実施する
3. 公平で平和な世界を築くため、革新的なプロ
ジェクトと創造的なパートナーシップに参加
4. 財団が自分たちの財団であるという自覚と
誇りを築く
(年次基金、恒久基金、ポリオ・プラス基金を支援)

未来の夢計画の目標

- * プログラムや手続きを簡素化
- * 奉仕活動の焦点を絞る
- * 地元と海外の両方の活動を支援
- * ロータリーの公共イメージを高める
- * 地区とクラブレベルで『自分たちの活動』という意識を高める



財団の資金…年次基金とシェア

年次基金寄付:

- ☞ 3年間据置
- ☞ 財団活動資金として使用
- ☞ 運用益は財団運営費

目的:

- ☞ 地元や海外で実施される幅広い財団活動を支援

基金の仕組み:

- ☞ 50% ⇒ 国際財団活動資金(WF)
- ☞ 50% ⇒ 地区財団活動資金(DDF)

財団の資金…恒久基金

目的:

- ☞ 財団とそのプログラムや補助金の長期的存続
- ☞ ロータリー平和センターを支援

基金の仕組み:

- ☞ 寄付は恒久的に投資される
- ☞ 恒久基金の投資収益の一部を使用
- ☞ 基金の価値総額の一定割合が、毎年財団プログラムと補助金のために使用される

新補助金モデル

2012-13 まで

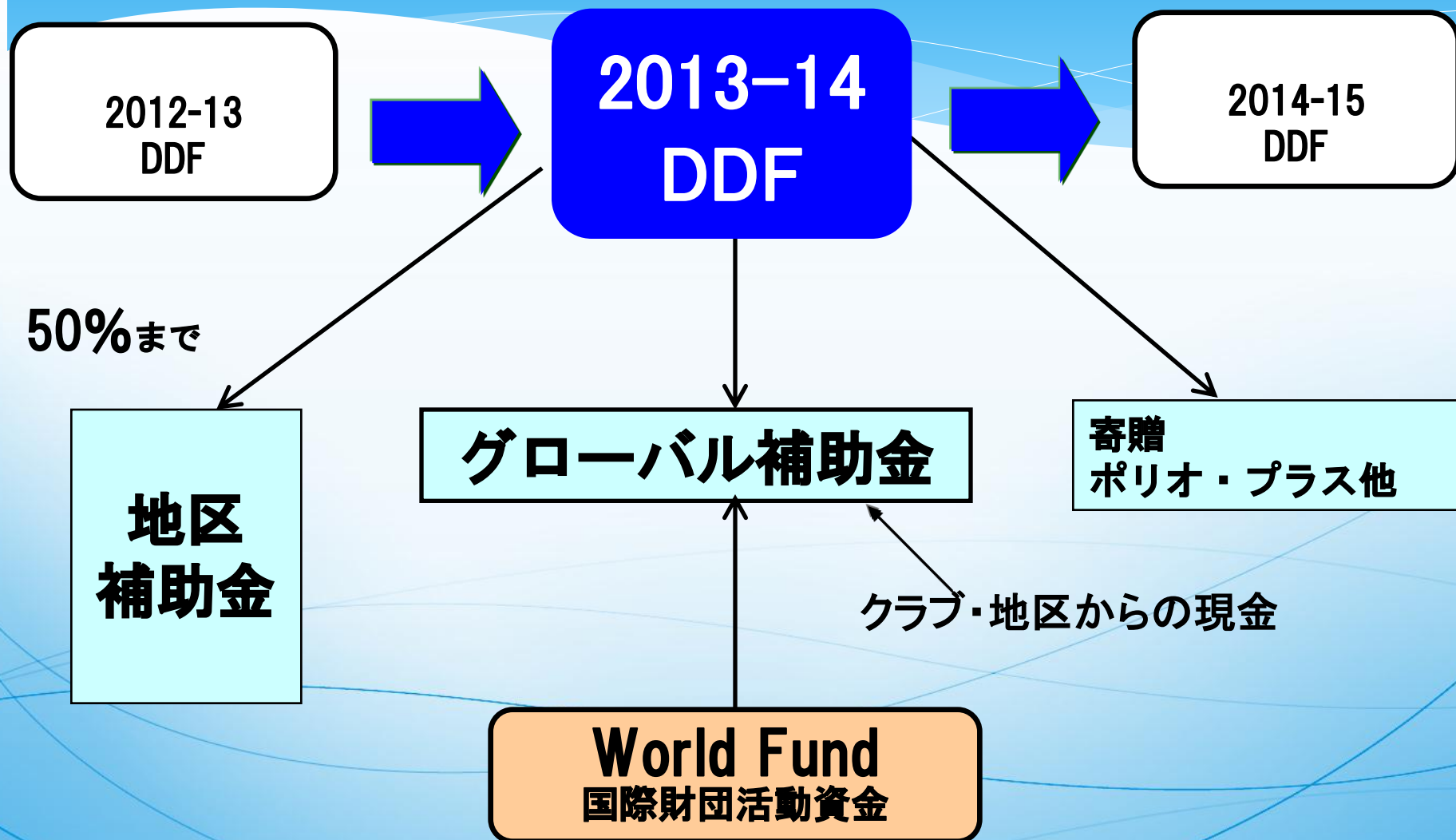
~~地区補助金(DSG)
マッチング・グラント
国際親善奨学金
研究グループ交換~~

2013-14~

地区補助金(DG)
グローバル補助金
パッケージ・グラント

ロータリー平和フェローシップは継続

地区財団活動資金の用途



新地区財団部門組織

地区財団監査委員会

ロータリー財団委員会

補助金小委員会

奨学金・学友・ロータリー平和フェローシップ担当グループ

地区補助金・グローバル補助金担当グループ

職業研修チーム担当グループ

資金推進小委員会

ポリオ・プラス小委員会

財団資金管理小委員会

PolioPlus



Rotary International



END POLIO NOW

今こそポリオ撲滅のとき

- * 1985年ポリオ・プラス・プログラム開始
- * ポリオの撲滅はロータリーの最優先事項
- * 活動開始時点、125カ国に35万人以上の感染
- * 世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)におけるパートナー組織との協力下、25億人以上の子どもに予防接種
- * 感染数は99%減少
- * ロータリーは、世界ポリオ撲滅活動へ寄付10億ドル

2013年 ポリオ発症状況

ナイジェリア	43
パキスタン	24
アフガニスタン	4
エチオピア	1
ソマリア	108
ケニア	12
全世界	192

ポリオ常在国 71, 非常在国121
(2013年8月21日現在 / WHO)



ロータリー平和フェローシップ

国際関係、平和研究、紛争解決とその関連分野の修士号、あるいは平和と紛争解決の分野の専門能力修了証の取得を目指す学生にロータリー平和フェローシップを提供

ロータリー平和センター提携大学

国際基督教大学（日本）

ブラッドフォード大学（英国）

デューク大学 とノースカロライナ大学チャペルヒル校（米国）

クイーンズランド大学（オーストラリア）

チュラロンコーン大学（タイ）

ウプサラ大学（スウェーデン）



ロータリー平和フェロー学友

寺西 悦子さん(第4期生)・・・オーストラリア・クイーンズランド大学

JICA(国際協力機構)での技術研修員受入の仕事を経て、IOM(国際移住機関)のネパールにて人身取引被害者支援、労働移民管理の業務に従事し、2012年からは北部ケニアの難民キャンプにて平和構築・人道支援に従事

金子 由佳さん(第8期生)・・・オーストラリア・クイーンズランド大学

パレスチナ紛争地域において活動

「様々な国、立場で国際協力に従事していた人達がロータリー平和フェローの名のもとに集まり、勉強や活動を通じて交流することで、卒業後の実践的なネットワークの構築につながります。個々のフェロー達が、ネットワークで結ばれることにより、平和構築関連事業における適材適所のアプローチ、包括的視点に基づくアプローチが可能となります。」



Enter to Learn, Go forth to Serve

